



山崎建設の 外国人実習生の指導施策

Ⅰ生活指導

現場赴任前に支店で「宿舎でのルール」等を資料で指導するか、現場赴任後に事務担当者もしくは所長が現地ルールを指導しています。

内容は「ごみの分別やキッチン周りの清掃」「貴重品保管の指導」等

Ⅰ日本語指導

ある営業所では、実習生またSSWの方対象に、強制はしないが仕事終わりに1時間日本語(読み書き意味)の勉強会をしています。

赴任前と修了試験前に勉強会も実施しています。赴任前は支店で1週間程度山崎基本ルール、現場頻出単語、各ゼネコンの入場テスト勉強を行います。修了試験前は予想問題を現場事務所にて1日以上勉強しています。

作業所(ゼネコン)入所時の日本語面接対策も行います。



山崎建設の 外国人実習生の指導施策

Ⅰ 技術指導

技能実習評価試験対策を集合教育にて実施しています。
現場単位でICTブル、バックホウ、転圧機の指導もしています。
また、溶接職は工場で整備・点検・KY教育を行います。

Ⅱ その他

自分で買い物等出掛けられるよう全実習生に自転車の貸与（保険は実習生保険でカバー）

- ・現場単位で行う会食参加
- ・所長会主催行事（ボウリング・バドミントン）参加
- ・初回赴任者に先輩から「日本文化」「生活面の注意等」フィリピン人同士で補足説明
- ・会社の「安全基本ルール」を英訳し、機械課長が指導
- ・地域の「海岸・河川」のゴミ拾いに参加